

歯科保存のネクストステージ

日本歯科保存学会 2023 年度春季学術大会（第 158 回）大会長
東京歯科大学歯内療法学講座
古澤 成博



新型コロナウイルス感染症の収束がままならないなか、世界情勢が不安定になるなど、私たちを取り巻く環境は大きく変わってしまいました。数年前までは当たり前であったことが当たり前ではなくなり、皆様方の生活も一変されたのではないかと推察いたします。地方の学術大会に参加して勉強し、日頃のストレスを発散させることなど、二度とできないかのような状況が続きましたが、ここに来てようやく、わずかながら明るい日差しが見えてきました。

このたび、第 158 回日本歯科保存学会春季学術大会を、私ども東京歯科大学歯内療法学講座が担当させていただくこととなり、現在鋭意準備を進めております。今回は、歯科大学が存在せず、なおかつ新幹線でもアクセスが難しい島根県をあえて選びました。感染状況が不透明ななか、岡山大会を参考にして現地開催とオンデマンド配信という二段構えで開催する予定で、できるだけ多くの会員の皆様に参加していただける大会にしたいと考えております。

今回のテーマは、「歯科保存のネクストステージ」です。いうまでもなく、歯科保存学分野の研究・臨床・教育は日進月歩しており、その現状と将来展望について種々の方面からアプローチをしていただこうと思っております。シンポジウムでは「革新的歯科医療技術開発戦略と実用化支援」と題して、それぞれの専門分野の先生方にご登壇いただき、最先端技術についてご講演をお願いする予定です。また、最近、ゲームの世界など若い世代で話題となっているメタバース、すなわち仮想空間を利用した歯科医療技術の実技トレーニングを行う新たな教育分野の取り組みや、歯科保存学分野の診療における最新情報をご紹介します。さらに、皆様方が大変気になっていると思われる「歯科保存専門医制度」についても、現在わかっている内容と今後の見通しなどについて、わかりやすく整理して解説していただこうと考えております。

ご承知のように、出雲は「神話の国」です。観光地としても松江城をはじめ、東は足立美術館や伯耆大山、西には宍道湖や玉造温泉、出雲大社などの名所が点在しております。私たちを取り巻く環境が厳しさを増している状況のなか、心のリセットも必要です。どうぞ皆様、初夏の出雲で開催される春季学術大会に奮ってご参加いただき、学術的な刺激と同時に心にも新たなエネルギーをチャージしていただければ幸いです。